

講演会

# アート de いきいき

## アートケアという発想で様々な世代の心身の健康へアプローチ

～赤ちゃんから子ども、おとなまで～  
子どものアート活動を通じた  
子育て支援やアートとの関わりについて  
考えてみませんか



アートや美術館は美術愛好者のためだけのものなく、赤ちゃんからおとなまで、みんなのいきいきとした暮らしをサポートできる可能性をもっています。

「アートケア」という発想で美術館等と連携し生涯学習に携わる講師を迎え、市民一人一人が健やかに、心豊かに暮らすためのアプローチを提案します。

- 各世代へのアプローチを、具体的な事例で紹介。
  1. 乳幼児の成長と、保護者のメンタルケアとしてのアート
  2. 園児の美術鑑賞と描画の変化
  3. 保護者と小学校が協力し、朝活で鑑賞会
  4. 中学生・高校生の乳幼児鑑賞会での付き添いと多世代交流
  5. ご年配者の鑑賞サポーターとしての活動
- なぜアートや鑑賞の活動がいきいきとした暮らしづくりに役立つのか。
- それぞれの携わる現場での可能性について意見交換。

対 象：どなたでも

と き：10月21日（月）14:00～16:00

ところ：白山市民交流センター〔はくさんホール〕4階 AV講義室  
（白山市倉光二丁目1番地（白山市役所隣） 電話076-274-9591）

定 員：30人程度（お申込み順）

講 師：富田めぐみ氏  
（NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事）

参加費：無料

申し込み：松任中川一政記念美術館へ、電話等でお申込みください。

【お問い合わせ／お申し込み】

白山市立松任中川一政記念美術館 電話／FAX：076-275-7532〔月曜休館〕  
〒924-0888 白山市旭町61番地1（JR松任駅 南口横）  
E-mail：nakagawakinen@city.hakusan.ishikawa.jp